

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

開 催 日：平成27年9月10日(木)

開催時間：9時56分～15時52分

開催場所：全 員 協 議 会 室

【委 員】布施委員長、牛尾昭副委員長

串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】平石、芦谷、小川、足立、岡本、江角、道下、上野、岡野、西田、野藤、柳楽

【議 長】原田議長、渋谷副議長

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部次長(兼産業政策課長)、竹中産業振興課長、
佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長(併農委事務局長)、吉田水産振興課長、
石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長(兼建設企画課長)、吉田建設整備課長、
宮下地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、

(地域政策部) 砂川地域政策部長、宇津地域政策部次長(兼政策企画課長)
岡田地域プロジェクト推進室長

(金城支所) 吉永金城支所長、芹原金城支所産業建設課長

(旭支所) 田村旭支所長(兼産業建設課長)

(弥栄支所) 細川弥栄支所長、後野弥栄産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、岡田三隅産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

- 1 議案第73号 浜田市木田暮らしの学校条例の制定について
- 2 議案第74号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第75号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第79号 工事請負契約の締結について(浜田市立弥栄小学校屋内運動場改築に伴う建築主体工事)
- 5 議案第80号 市道路線の廃止について(下来原59号線外)
- 6 議案第81号 市道路線の認定について(下来原59号線外)
- 7 執行部報告事項
 - (1) 浜田市中心小企業イノベーション支援事業補助金の人材育成事業について
 - (2) 浜田市プレミアム付共通商品券の応募状況等について
 - (3) 浜田市と日本政策金融公庫浜田支店との産業振興等に関する包括的業務協力協定の

締結について

- (4) ゆうひパーク浜田(株)の状況について
- (5) 漁業別水揚げについて
- (6) B B大鍋フェスティバル2015について
- (7) S e a-1 グルメフェスティバルについて
- (8) 千畳苑改修計画（案）について
- (9) 「ようこそ浜田！共通商品券」発行事業について
- (10) 美又温泉国民保養センターについて
- (11) 市営住宅駐車場整備及び使用料の徴収について
- (12) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について
- (13) その他

8 所管事務調査

- (1) 誘致企業の状況と雇用情勢について
- (2) 夏期の主要観光施設の入込客について
- (3) 夏期のイベントの入込客と経費について
- (4) 政府関係機関の地方移転に係る提案について
- (5) 次期浜田市総合振興計画等について
- (6) その他

9 請願について

請願第7号 TPP交渉に関する請願について

10 その他

【議事の経過】

[9 時 56 分 開議]

布施委員長

ただいま、出席委員は7名で定足数に達しております。直ちに本日の委員会を開催いたします。

それでは、議題1から6、産業建設委員会に付託された議案6件、議案7の執行部報告事項及び議題8の所管事務調査及び議題9の請願1件について、順次進めていきますのでよろしくお願いします。

1. 議案第73号 浜田市木田暮らしの学校条例の制定について

布施委員長

この件について、執行部から補足説明はありますか。

(「ありません」という声あり)

布施委員長

委員から質疑はありますか。串崎委員。

串崎委員

一応指定管理者という形になると書いてありますが、28年4月1日から毎日学校に常駐されるんですか。

旭産業建設課長

指定管理者で対応させていただきますが、基本的にこの施設は地域の集会所的施設として残します。使いたいと言われる時に対応するのが原則になっていますが、今後活動する中で是非見てみたいと言われる方も多く出てこられるだろうと期待していますので、少なくとも土日は誰か人を配置する予定にしています。

串崎委員

私が思うに、この学校をずっとこのまま放置しておけば人の交流も出来にくいと感じています。これは私の思いですが、要するに例えばここに公民館等が入っていると、食事関係も出ている感じがします、ここに来れば毎日カレーライス等が食べられるとか。人が使う時だけここを開く形では、あまり効果がないような感じがしますがどうですか。

旭産業建設課長

仰るとおり希望される時だけ開けるとなると、施設も非常に老朽化すると思いますので、指定管理者側で自主的な事業をどんどん展開していこうと思っています。通年を通じたイベント、あるいは季節ごと、あるいは不定期に色んな企画をして、取組みをさせていただこうと思っています。ただ、貸し館的な面がありますのでここについては集会所的な要素になるだろうと思っています。

串崎委員

あと事業目的の3号にあります、飲食の提供も考えています。今後飲食店営業法の許可を取らせていただいて、そこで是非ヨシタケコーヒーを提供できる施設にしていきたいと思っています。

ご存知かもしれませんが、弥栄のうどんの今田さん、訪れた方もたくさんいらっしゃると思います。最初は場所が悪いしどうだろうと感じていましたが、今では大変お客も多く、なかなか食べられない状況だと聞いています。そうしたことまで考えながら、コーヒー等大変よろしい考えだと思います。とにかく何かを回していなければ恐らく駄目になるのではと思います。

それと別表に値段が書いてありますよね、体育館がいくら、運動場がいくらと。運動場等、子どもがキャッチボールをしたりするような時にもお金を取るんでしょうか。

旭産業建設課長

今回条例を示させていただいていますが、使用料については規則で謳っています。地元民は免除する規定です。ただ、部屋の空調を使用した場合は空調代はいただきますが、通常は地元民からは料金を取らない方

針を考えています。

串崎委員 その方がよろしいかと思えます。体育館1,000円も結構高い値段ですし、その方が良いと思えます。

布施委員長
飛野委員 その他、委員からありますか。飛野委員。
今、指定管理の話が出ましたけど、来年の4月からということでしたが、指定先の想定は既にいくらか出来ているんですか。

旭産業建設課長 現任意団体ですが、木田地区振興協議会という組織を作って今まで検討してきました。この組織を今後法人化したいと考えています。前回は一般社団法人といった思いもありましたが、なかなか収益を上げるのは難しいとのことで、非常に地域性の強い所ですので地縁団体という形を取って、今後法人格を取ってやろうと思っています。今の母体である任意団体がそのまま受けたいという意思を持っているので、それで対応していこうと思っています。

飛野委員 安心しました。何故かという、農業と連携して地域交流云々というのは、一つの事業というか営業的なものではなく地域のことで、そういう方はなかなかおられないと思う。それが既にそういう部分で協議に参画されておられるということは、間違いなく良い物になっていくと思います。

25年3月に閉校され、まちづくり・自治会・公民館・有志等、20名くらいのチームを作って現在ここまでこられたというのは、浜田市には廃校を含めて色々な施設がありますが、その処遇について皆さん頭を悩ませていることを考えると、その20名を巻き込んで素晴らしいものを立ち上げてこられたなと感じます。これは今後のモデルケースになるんじゃないかと私は受け止めています。

旭産業建設課長 そこで、簡単で結構ですがここまでこられるにあたり、委員会等において苦労された部分等があればちょっとお聞かせください。

私の母校でもありますので、私もメンバーの一人として当初より参画していますが、やはり思いには差があります。年齢も違いますし、なかなかイベント1つ取っても難しい部分がありますが、リーダーの存在が非常に大きいと思っています。色々なものがあっても、この小学校を残したいという地域共通の思いがありますから、そこが皆さんの気持ちが繋がった大きな要因だろうとは思っています。

飛野委員 まちづくりにしろ自治会にしろ公民館にしろ、リーダーはたくさんおられるけど、それを乗り越えたもう一つ大きなリーダーがおられた、という解釈でよろしいですか。

(「はい」という声あり)

布施委員長
笹田委員 その他、委員からありますか。笹田委員。
歴史的価値を有する木造施設を地元で活かされるとのことで、我々も応援していかなければいけないと思えます。指定管理料はどのようになっていますか。

旭産業建設課長 今回の補正で3ヶ年の債務負担行為として上げさせていただいていますが、年間95万円です。内訳で言うと、電気代や消防点検費、上下水道代等の一般管理費相当部分です。

笹田委員 年間100万円弱とのことで、大変な金額じゃないかと思えます。収益性はどのような形ですか。

するのではなく……協議会の中にも旭温泉組合の組合長が入っていますから、連携する形を是非取ろうということで。色んな体験は小学校でしていただいて、宿泊は温泉で、という形を中心に考えていきたい。

ただ、簡易宿泊施設というわけにいきませんから、宿泊業の看板を掲げることは出来ませんが、体験の中で島根田舎ツーリズム的なことでカバー出来る部分、キャンプや合宿という形で体験料をいただく中でそういったことは出来るのかなと思っています。看板を掲げて宿泊させることは今の所考えていません。

西田委員

旭支所ではそうやって、支所長、課長、大変頭を悩まされているんだろうと思います。宿泊は温泉で、体験等はこちらでと分けられています。今から体験交流や地方に交流を求めてやってくる子どもたちも含めて、何百人単位でこれからあと3年後5年後には、あるいはツーリズム協議会とか産業経済部の観光交流課とか、一緒になってそれを目指そうとしていますから、浜田市にとっては大きいことなので私はそういう住み分けをせずに、もうこれ産業経済部が本気になって、これ旭支所のことじゃないんで、産業経済部が本気で取り組んで、どんどん都市部から年間何千人の子どもたちにやってきてもらって、合宿等してもらって。お湯に入るのは旭温泉に入ってもらったり、来る人の中には旭温泉にも泊られたり。もっとマックスに来てもらうように。その中で振り分ける。最初から温泉と宿泊を振り分けるのではなく、マックスで来ていただくことを考えてもらって、その中で振り分けをしてもらう。そうするうちに波及効果で色んな方々がやってこられると思います。まずはこれ、旭支所で考えるのではなく産業経済部で本気になって取り組んでもらわないと全然意味がないですよ。旭の木田小学校を最大限に活かすため、経済部で本気で考えていただきたいと思います。

産業経済部長

西田委員さんの仰るとおりです。私どもも、答弁は田村旭支所長からさせていただきましたが、これの活用については逐次状況を私どもに連携させていただき、お話も伺って本日の条例提案になったところであり、中身については充分把握しているつもりです。

支所長が申したように、あの古い木造校舎を不特定多数の方が宿泊できるようにすると、かなりハードルも高くなります。設備的なもの、法令上のもの等々を全てクリアしないと不特定多数の方の宿泊はできません。ただ、金城の若生学び舎館は本当に宿泊ができて、私も以前泊ったことがあります。ああいった形もすごく魅力的で私も良さを充分感じていますので、可能性について旭支所と充分連携して、市全体で考えていかないといけないということは承知しているつもりですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

西田委員

部長、ハードルが一杯あるのは分かりますけど、全国を見てもそういった色んな施設を最大限に活かされている所というのは、何でこここんなことが出来るのかな。皆高いハードルはあるんですよ。それを色んな知恵と汗で、行政も民間も一緒になってそのハードルをクリアするために前向きな気持ちがあるんで。ハードルをクリアすることは物凄いやりがいを感じませんか。是非ハードルをクリアするように皆一緒になって考えたいと思いますので、よろしく申し上げます。

産業経済部長

先ほどの委員さんのお気持ちもよく分かりました。旭支所さんで、は

つきり言いましたら、木田小学校に宿泊があれば旭の温泉に影響があるとかいう気持ちも本当の話です。旭温泉にもあふれるほどの人が来て、色んな地域で受け入れるというプラスアルファの発想でいかないといけないのは充分感じていきますので、今後検討してまいります。

布施委員長
牛尾昭副委員長

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

木田小学校のオープニングの時に招きいただいて、すごいなと思って。私は旧原井小学校を残したいという運動をしていましたが、残念ながら残せなかったのが、木田に行った時は素晴らしいなと思いました。その上で申し上げたいのは、皆さん非常に前向きなことを言われるんだけど、本当に収益を上げようと思うと地域間競争もあるし、口で言うのは簡単だけど実績を上げようと思うと大変だと思います。そういう意味で言えば、例えば歴史だとか、学校から佐々田邸が見えるし、最近聞きました焼けた母屋の裏に尼子神社があるとか、学校の裏山には山中鹿之助の墓があるとか、そういった現実にあるような歴史的なものを活かしながらここを活かさないと。ヨシタケコーヒーがありますよとかぼんやり構想があっても、紺屋町にヨシタケコーヒーを売る店が出来ましたしあちこちあるわけです。ですから戦力を絞り込みながらいくつかの柱を立ててやらないと、総論賛成でいざやったけどあまりお客さん来ないよね、ということになりかねないので。水をかけるような言い方をすることもかもしれませんが、しっかり確かな柱を打ちたてて、それには最低これくらいお客さん来るよというようなことをやっていただきたいと思います。

それと西田委員の話と被るんですが、実は今月24日に広島商工会議所との意見交換会をします。その一つの大きなテーマは「農山村留学の受け皿が広島では足りないから、是非島根県、具体的に言えば浜田で受けて欲しい」という話し合いがあります。そういうニーズもあるので、西田委員が熱く語ったような、旭温泉もあるけどああいった貴重な建物での合宿というのも考えられた方が。広島側はそういうのを求めているんです。広島にもあるものではなく、島根県だからあるような空間を求めて人は来るんですから、「らしさ」を追求して、この魅力だけはどこにも負けないというものを外に向けて打ち出さないと、地域間競争に負けると思います。そういうことも留意していただきながら頑張りたいと思います。

質問ですが、地域おこし協力隊はこの案件にどのように関わりを持たれるのか持たれないのか、お伺いします。

旭産業建設課長

地域おこし協力隊は、先ほどもありましたように20名中1名、スタッフとして入っています。通常はこの小学校に勤務して、色んな小学校新聞を発行したり色んな企画をしたり、地域調査をしたり、何とかファンづくり1000人という大きな目標を作っています。そのためにどうするかを彼が中心になって考えてくれています。

牛尾昭副委員長

それは大江さんの話ですか。

(「はい」という声あり)

大江さんは川越の出身ですから、浜田藩ゆかりの方ですから、その辺を大事に。歴史的にそういうものがあるので、活かしながら頑張ってください。

布施委員長 | その他委員からありますか。
(「なし」という声あり)
では、この件については終了します。

2 議案第74号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について

布施委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。
(「ありません」という声あり)

布施委員長 | 委員から質疑はありますか。笹田委員。

笹田委員 | これも以前出た、災害特別住宅の仲三団地ですが、これを改正するというので。5個中4個については有償譲渡となっていますが、これは一体いくらかで譲渡して、補助もあるのかどうか、まずそれを伺います。

建築住宅課長 | 助成する費用ですが、建物の譲渡価格に対して7割を助成します。金額に関して言えば、ここの場合は土地代も含んでいますが、まず土地代も含めた価格でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

一番上から、1096番地1の方ですが最終的な個人負担額は約56万円。1096の8番の方は約54万4,000円です。1096番の9の方は約54万1,000円。1096の12の方は約78万3,000円となっています。

笹田委員 | 大体50万円台かと思ったら最後に一つだけ78万円台が出たんですが、これは何か特別な差があるのでしょうか。

建築住宅課長 | 土地の面積が広い関係で、この方だけ少し割高になっています。

笹田委員 | 1戸については入居者が退去されるとのことで売却または解体を検討すると書いてありますが、売却は現状のまま売却するんですか。

建築住宅課長 | 現状のままで考えています。定住対策を目的に現状で敷地を合わせて、有償譲渡を考えています。

笹田委員 | それでも売れなければ解体して、土地をどうするかをまた決めるということですか。

建築住宅課長 | はい、そのような考え方です。

布施委員長 | その他委員からありますか。串崎委員。

串崎委員 | 何故今の時期にこういう形になったのか教えてください。

建築住宅課長 | 耐用年数が30年を過ぎ、入居者の方の意向も踏まえて譲渡する流れになりました。

布施委員長 | その他委員からありますか。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

3 議案第75号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について

布施委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。
(「ありません」という声あり)

布施委員長 | 委員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

4 議案第79号 工事請負契約の締結について(浜田市立弥栄小学校屋内運動場改築に伴う建築主体工事)

布施委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。
(「ありません」という声あり)
布施委員長 | 委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
では、この件については終了します。

5 議案第80号 市道路線の廃止について（下来原59号線外）

布施委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。
(「ありません」という声あり)
布施委員長 | 委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
では、この件については終了します。

6 議案第81号 市道路線の認定について（下来原59号線外）

布施委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。
(「ありません」という声あり)
布施委員長 | 委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
以上で産業建設委員会に付託を受けた、市長提出議案に対する質疑は全て終了しました。

7 執行部報告事項

布施委員長 | 執行部報告事項です。全員協議会へ、「提出すべきもの」「資料配布のみとすべきもの」「提出の必要はないとするもの」の決定をしたいと思います。
報告事項が12件あります。それぞれ執行部からの説明、質疑が終わった最後に委員の皆様にお諮りいたしますのでよろしくお願ひいたします。

- (1) 浜田市中企業イノベーション支援事業補助金の人材育成事業について
- (2) 浜田市プレミアム付共通商品券の応募状況等について
- (3) 浜田市と日本政策金融公庫浜田支店との産業振興等に関する包括的業務協力協定の締結について
- (4) ゆうひパーク浜田(株)の状況について

産業政策課長 | ではこの4件について一括で説明を求めます。産業政策課長。
(以下、資料をもとに説明)
布施委員長 | 報告が終わりました。(1)について委員から質疑はありますか。笹田委員。
笹田委員 | 予算額はどうなっていますか。
産業政策課長 | 予算については現行予算を活用して対応したいと考えています。現在当初予算では700万円計上していますが、残が250万円余りありますので、まずはそれで対応し不足があれば補正での対応を考えていきたいと思ひます。
笹田委員 | 具体的に資格とはどのようなものをお考えですか。
産業政策課長 | 主には建設業界や食品製造といったところでのクレーン講習や、フォークリフト、食品衛生管理といったものは資格が必要です。企業に聞き

取り調査をしたところ、20万から50万の費用を負担されているとのことでした。

笹田委員

事業対象者とのことで、中小企業イノベーション支援事業の一環でやるとのことですが、これは建設業と製造業等と書いてありますが、それに限定したものと理解してよろしいですか。

産業政策課長

ここには建設と製造を挙げていますが、その他にもITや福祉等、対象にしていきたいと考えています。

布施委員長

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

年度途中で加えるのは業界の要請があったからだと思うんですが、職種限定はあまり良くないなど。例えば小売業なら販売士であるとか、調理師免許だとか、色々な業種・ケースがあるわけですよ。それらが全てこの中に内包されると考えて良いのでしょうか。

産業政策課長

ここでは製造業と建設業と表現していますが、職種については限定していません。

牛尾昭副委員長

あまりアバウトな言い方では……では具体的にそれに適合するののかというのは事業主には分かりませんよね。この資金に頼ろうと思ってもどういう業種がOKなのか分からないと、応募しようがないとか見逃してしまうことがあるじゃないですか。そういう点はしっかりと、どういう資格までOKかということをお示ししながら告知しないと、不公平になるんじゃないかと思うんですよ。建設業、製造業だけでやるんじゃないと言われるので、そうでない業種は一杯あるので、漏れがないような告知の仕方を。年度途中ですからあと半年くらいしかない中で、急遽こういう事業をおやりになるんですから。事情があるんでしょうが、逆に言えば不公平にならないような手段を、経済部としてこの短期間の中でやれるような計画とは、具体的にはどのようにお考えでしょうか。

産業政策課長

ご指摘はごもっともだと思います。先ほども言いましたように業種については建設・製造に関わらず全ての業種に対応する人材育成となるものにしていきたいと思っています。そうするとPRの方法になるかと思いますが、今浜田市では中小企業支援連絡協議会といって商工会議所や金融関係、島根県産業振興財団等々との連絡会議を持っていますので、そういった機関への今回のこの人材育成事業についてPRさせていただき、広く行きわたるように周知徹底を図りたいと思います。

牛尾昭副委員長

課長の話を知っていると、市内を歩いて、建設業の方が相当コストがかかるから支援をして欲しいというお話もありましたが、そういう方、もしくはこういう事業があるならこの際だから自分の所の社員に手を挙げさせて資格を取得させたいなという、簡単に言うとその2タイプあると思います。緊急性があるかどうかは分かるんだけど、それらを分け隔てなく公平に受け止めるのだとしたら、残の250万円ではちょっと寂しいような気がします。告知をしてみれば分かるんでしょうが、漏れがないように。こういった年度途中開始の事業でよくあるのが、聞いていなかったという声を圧倒的に聞きます。一番苦情を受けるのは議会なので、そういうことがないようによろしくお願いします。

布施委員長

その他ありますか。串崎委員。

串崎委員

この事業について分からなかったのを見てみたら、924万9,000円です

か、上げてあって。今700万円と言われましたがそれはどのように捉えれば。

産業政策課長

700万というのは中小企業イノベーション支援事業補助金に特化したものが700万円という意味でして、これ以外に、今からやりますがブランディング実践セミナーとか、セミナー費用を含めて総額で言うと924万9,000円になります。

串崎委員

普通、常識で考えても、大分PR等の話を聞きましたがかなりの金額をこのようにして出すわけですので、先ほどの話のとおりPR等に力を入れていただきたいと思います。

布施委員長

その他ありますか。牛尾博美委員。

牛尾博美委員

990万で言えば99人ということだね、1人最大10万円でしょう、だから99人ぐらいは人数的に言うとその予算で確保出来るとのことだけでも、最も問題となるのはこれを一過性の1年だけで置くのか、浜田の中小企業の勢いを増すために様々な資格が必要なので、その人たちに対して浜田市は全面的に応援しますよという姿勢を示す意味でも……これは先ほど説明されたように平成28年3月31日となっているんですが、申請期間もそうだし、期間がね。それを、方向性の問題なんだけどこういうのを引き続いて、本来なら全面的にバックして浜田市のあらゆる経済関係に携わる人、組織の人たちの人的な層の厚さ、質を上げていくことに繋がると思うんですが。考え方、中長期的にこれをしっかり応援していく考えはあるんでしょうか。1年だけで終わるか、それとも長期的な考えを持っていらっしゃるのか。

産業政策課長

今回は中途での事業追加として提案させていただきますので、平成27年度限りの事業として上げていますが、これは今後も続けていく予定にしています。というのは、現在建設関係は特に、求人はするが求職がない状況が続いています。これを放置していると浜田の建設産業に非常に影響が出ると懸念していますので、その辺の対応・雇用に繋がる対策としても繋げていきたいと思っていますし、企業のステップアップとしても重要な施策だと考えているので、将来的にも続けていける事業にしたいと考えています。

牛尾博美委員

市長は「元気な浜田」として、特に経済関係に対してはこれから傾聴していく姿勢ですので、全ての資格を要するものに対しては難しいかもしれませんが、出来るだけの予算を取りながら企業の体質・一人一人の資質を高めて、この補助金事業について積極的に予算要求して、市として人材育成部分をフォローしていただきたいです。応援します。

布施委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

笹田委員

(2)について委員から質問等ありますか。笹田委員。

以前、残セットについては有効活用した方が良いという意見を述べさせていただきました。こういった形でどうにか使おうという意図は見えるんですが、最後の説明で、予約セット数のうち、これ以上要らないという方や取りに来られない方を確定するのが遅いと思うんですが。どの段階で残りのセットを販売するかもしれない可能性が分かるのかと、残セット62セットが何セットになれば販売可能なのか、お願いします。

産業政策課長

いつの時点で確定するかですが、引き換え期間が10月1日から20日ま

でとしていますので、最終的には10月20日をもってとなろうかと思いますが、恐らく最初の週の土日が終わりますと、半分以上引き換えが終わるのではと見込んでいますので、その状況を見て次どうするかについて商工会議所さんと協議して対応したいと思います。

残セット数はどのセットで決まるかの境目ですが、どれくらいまでというのは今は考えていませんが、100セットでも残れば今の消費喚起を考えると120万の売上に繋がりますので直販の方法を検討すべきじゃないかと思っています。62が増えることはあっても減ることはないので、消費喚起を考えると100セットを越えれば対応せざるを得ない、対応した方が良く考えています。

笹田委員

まだ何も決まっていない状況だと分かりました。10月20日に引き換えが終わって、プレミアム分が使えるのが12月31日までという非常に短い期間だと思って質問させていただいています。そういった意味では10月頭くらいに決断と販売をしないと、2ヶ月しか使えないとなると余ったり使い忘れたりする可能性もありますので、そういうことを考えているのであれば緻密に逆算して、何日までには直販するか決めるだとか何セット残ればどうするといったことを決めておかないと、ずっと先送りになって話し合い話し合いになって、結局12月頭になってもそのままになる可能性も、今の話を聞く限りあり得るような気がします。きっちり決めていただいて、先ほど100セット売れば120万の消費があるということなので、それに向けて全力を上げて短い期間ですがやっていただきたいと思います。

産業政策課長

仰るとおりで、本当に時間がありませんので、担当レベルの話では12月早々には直販する、それに向けては当然公平にPRしないといけないので、早めに方向性を見定めて対応したいと思います。

布施委員長

その他委員からありますか。

(「なし」という声あり)

次へ移ります。(3)について委員から質問はありますか。串崎委員。

串崎委員

私のイメージから言えば教育ローンと貸付資金提供としか映りませんが、これを見ると情報提供をされるといったことのようなのですが、これは月に一度そういった会議等をされるのですか。

産業政策課長

この協定に基づく事業の進め方については今後詰めていくことになりますが、ここに掲げている事業、既に動いているものもありますが、具体的には今後関係者で定期的に集まって会議を持ちながら進めていきたいと思っています。

串崎委員

今からということですね、分かりました。

布施委員長

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

現在浜田市の小規模というのは、市がやっているんですか、会議所がやっているんですか。多分やっているのは国金ですよ。今まで国金が新規創業であるとか、そういうことは今までずっとその役目を果たしてこられたのは間違いないんですが、新たに業務協力の内容といったところで、今までの枠を超えるような事案がこの中に見当たらないんですよ。だから何を今さら国金と業務提携して、目新しいものがあるのかなというのが素朴な疑問なんです。悪いというのではなく、このことによってどこかのジャンルが大幅に進展するとかいうことがあるんです

か。僕なんか新規創業の時は国金に1年通いました。国金は市中金融機関と違っていわゆる自分のプラント行動力、年齢もあるんだけど、それでお金を貸してくれるかと1年通って新規創業した記憶があります。そういう意味では非常に……これは市中金融機関と違って担保がなきゃ駄目だということはないんですよ。だからお金を借りる人間を殺さない非常に優れた金融機関なんです。そういうことを今までおやりになっているので、このことによって新たに更にメリットがあるようにはあまり感じないんですが。僕らに読みとれない所が何かあるのか、一つ示していただきたいと思います。

産業政策課長

今回の締結に至った経緯の一つには、まち・ひと・しごと創生総合戦略というのが打ち出されて進められています、その中でもこの総合戦略を進めるにあたっては今まで産官学の連携ということをしてきましたが、それに更に金融機関と労働団体も含めた提携をすることによっての地方創生、総合戦略を進めてもらいたいというのが国の指導の中にもございますので、それとも併せて浜田市においては国庫さんとこれまで以上に緊密な連携を図りながら、浜田の色々な課題解決にあたっていきたくと思います。

牛尾昭副委員長

今、市も起業セミナーをして女性やシニアや若者を対象にやっています。包括協定を結ばれたわけだから、逆に言えば新規創業をする時に資金調達が例えばしやすいとか、そういうメリットがあると。現行でもハードルは高いわけですから、その辺の弾力的な運用を市が、セミナーを受けて一定のレベルの方は創業支援資金をスムーズに出すようなシステムを作られると、非常に有効だと思います。いまみたいに、例えば家賃補助ぐらいだと家賃補助の途中で撤退する経営者もいるし、家賃補助がある間は開けておくよという所もあります。なくなった途端に閉めるとい。そういうことではなく現実に営業を行っている経営者サイドからは非常にクレームがあるんです。家賃補助がある間はあけておく、なくなったら止めると。その間既存の業者はそのことによって不利を被るわけですよ。私が何を言いたいかというと、新規創業というのはハードルがあるわけ、そのハードルをこういう国金あたりと包括協定することによって少し後押しする所に力を入れる方が、新規創業する人が生き残りやすい。税金で家賃が降ってくるからその間だけ開けておくけど終わったから止めます、というなら何もならない捨て金ですよ。少し視点を変えてもらって、これを機会に産業経済部の考え方をちょっと路線を変えてもらわないと。市内からそういう指摘を非常に受けています。何であんな無駄なことをするんだと。僕なんか矢面に立っているから非常に辛い所があるんですけど、是非この包括協定をきっかけとして、再度戦略を練り直していただきたいと思います。

産業政策課長

仰ることはごもっともだと思います。今金融機関さんとも連携しながら支援に取り組んでいます。先般も島根県の中央保証協会さんが事業承継に向けて取り組むといったこともありましたし、今回こうして政策金融公庫さんとの締結も実現できましたので、既存の事業者さんの事業承継や事業再生の面においても、金融機関さんとの今までにない産業経済部としての支援に取り組んでいけるよう考えてまいりたいと思います。政策金融公庫の件ですが、ここ10年来、今までの国民生活金融公庫が、

産業経済部長

あと農林漁業の公庫、それと中小の公庫となりまして、今回も松江支店から支店長に来ていただいています。これは中小・農林を抱えておられる大きな所から来ていただきました。その3つの公庫が一体化することで、従来は小規模の商店街関係の方が主でしたが、そこからかなりの規模の話も、大口のものについても浜田視点で充分ご相談を受けていただけるようになったのも事実です。浜田の企業でこの融資に携わられた所もありますし。それから先ほどの創業者の支援については、県の融資制度の創業者の金利負担もやっていますが、先般から浜田市としても日本金融公庫の創業者支援に対する金利負担もやっていますので。

副委員長が仰ったように創業支援や企業についても、幅広くやっているのは浜田市も充分考えているところですので、何とぞご理解賜りますようお願いいたします。

牛尾昭副委員長

ちょっと読み落としていましたが、今の部長のお話だと例えば先日の一般質問で申し上げましたが、休耕田を使ったエビの養殖等も6次産業化に向けての資金提供対処になるということなんですね、新たに。

産業経済部長

今の日本政策金融公庫は農林漁業公庫と中小企業の、3つの公庫が一緒になって日本政策金融公庫となっており、幅広い相談窓口が開かれていると認識しています。

布施委員長

その他委員からありますか。

(「なし」という声あり)

では(4)について質問等ありますか。串崎委員。

串崎委員

状況が悪いのは理解していますが、下の説明書きについて。アクアスの年間動員が前年を割り込んだとか、高速道路がどうのこうの書いてありますが、この要因として何となく他人事で、アクアスが悪いからここが減ったとかE T Cがどうだこうだ、理由の要因が納得いかない感じがしますがどうでしょうか。

産業政策課長

一生懸命誘客しておられるんですが、全体的に石見部の観光客の入込客数が減っているのも減収の大きな要因の一つになっていますので、そういう表現にはなっています。それでは赤字の解消には繋がりませんので、ゆうひパークさんにおかれては重点道の駅に選定されたこととか、三隅道の一部開通といった、良い意味での効果も生まれていますので、そういう効果も活かしながら今後も誘客に努めてまいりたいと伺っています。

串崎委員

それはそれとして。見ますとロケーションは良いといった形で、確かにロケーションは良いと感じています。地元民がいつも来られるようなものにしなければならない状況にありながら、私はいつも行って思うんですが、入ってすぐの喫茶店が何故海が見えない側にあるんだろうとか思うわけです。入ってすぐ右側に行けばロケーションも良く、あそこでコーヒーを飲みながら談笑するなら感じも良いと私は思っているんですけど、ロケーションと書いていらっしゃるのでその辺どうなのかなという感じを受けていますがどうでしょうか。

産業政策課長

ロケーションでの魅力づくりということで今色々取り組んでおられますが、バイキング部門です、2階奥にあります、これは非常に売上が伸びないこともあって現在はバイキングを辞められて、7月終わりからはイタリアンレストランとして再生されています。ここは海が見える非

常にロケーションの良い所ですが、そういった企業努力もされていますので、ご理解いただければと思います。

串崎委員
牛尾昭副委員長

ここにしかないものを何とか考えていただきたいと思います。

お盆以降、浜田市全体が非常に景気が悪いという話を各金融機関の方が言われていて、今までにないような景気の悪さだと、どちらに行っても伺います。ゆうひパークさんもバイキングの業績が悪いとのことでリニューアルされてイタリアンをされたんだけど、非常に綺麗なお店にされたのにお客さん少ないよねという話がFacebook上でも出てくるし、心配しています。その辺の情報はお持ちですか。ここが上がらないと多分全体の売上も上がって行かないんだろうと思うんですが。その辺の情報があれば教えてください。

産業政策課長

イタリアンレストランについては7月30日にオープンしました。企業さんが困っておられるのが、調理や接客を担当される人員がいないということです。色々探しておられるんですが集まらない状況がありまして、積極的にPRも出来ないという事情があると伺っています。後ほどお話しさせていただこうと思っていましたが、ゆうひパーク浜田については、食の賑わいづくりということで地域おこし協力隊を配置して、地産地消や集客力アップのための情報発信、食に関心を持つ方のための料理教室等をやろうとしていますが、そういった人員が配置されることによって、今後職員さんの採用にも繋がっていけば、売上が伸びて行くんじゃないかと期待しています。

牛尾昭副委員長

ゆうひパーク浜田だけじゃなくて全体的に入込客が落ちていますから、誰のせいだとか、行政の責任ではないと思うんだけど。どこかでちゃんと分析しないといけませんよね。高速料金もボディブローとして効いてきているんだと思うし、今朝の新聞でも米子道鳥取道の話が出ていましたよね、米子道通る方が1時間早いんだけど鳥取道が無料だから、運送会社は殆ど向こうへ行くんだと。運送会社は米子道の4車線化ではなく無料化を望んでいると。地元紙に載っていました。悪い悪いという前に市長もがんばっておられると思いますが、根本的なところをいじらないと小さいところをやっても全体的な入込客を伸ばすということは無理でしょうし、入り口が大きなネックだと思うので、あまり個別のことを言うべきできないと思うが大きい部分に力を入れて国が相手ですが言ってください。今月ですが広島会議所と話をして広島会議所も声を上げてくださいと浜田と浜田沿線の会議所、自治体だけでなく広島も浜田に行くのにお金がかかってやれないと、行きにくいともっと行きやすくして欲しいと両方で声を上げようと計画しています。そういう大きいうねりを作っていくないと、こういうすべての業種、観光業が立ち行かなくなると思うんです。あそこも倒れた、ここも倒れたという話の前にもう一回部長さんその辺のネックは分かっているので経済部だけでなく、市を挙げて強力に国にプッシュする。または総合戦略の中で前半の5年の中で、これをやらないと地方都市はだめですよという戦略を是非掲げる必要があると思うのですが、いかがでしょうか。

産業経済部長

今の高速料金の問題ですが、私どもも市長先頭にいろいろ県知事要望もやっております。ここでしたら西日本ネクスコさん、国の国交省の方としても全国に波及する問題として当時数年前の社会実験そういったこと

にも取り組んでいただけない状況も続いております。

皆さんに知っていただきたいのですが、浜田道には料金がかかっております、米子道ですが、広島から行く場合に三次から北上しまして、宍道までの間で三刀屋ところまで61kmが無料になっています。広島からスタートした場合に、中国道を経由して松江、出雲、浜田に行く場合に浜田は料金が2640円片道かかります。しかし、松江、出雲大社に行くときには無料区間を含んで、3,120円かかります。決して浜田が無料では無いというハンディがありますが、松江、出雲に比べて料金的にほんとに魅力が無いのかということになっていないと私自身思っております。やはり時間をかけて約3,000円払って松江に行かれる。時間もかかって。そうしますと、浜田には1時間半で来れるわけです。しかも料金はかかったとはいえ、松江よりは安く来られるわけですから、そこには魅力づくりが一番大切ではないかと戦略を練っていかないといけない。副委員長が言われることも大きな視点として要望をずっとしていきたいと思っておりますが、これについては国交省も県に行きましてもなかなか困難なんだと言っておられて、社会実験するにしても何年かかかります。この間もほめては置けない状況は続きますので懸命に魅力づくりに取り組んでいかななくてはならないと思っております。

笹田委員

一般質問でもいいましたが、浜田市は観光地ではないです。難しい状況です。東がイベントを打ってもこちらにはきませんでした。どんだけ金をかけても来ません。視察に行くんですが、道の駅なんかどんなだろうかと寄るのですが、地元の人ですごく賑わっています。山の中にある道の駅でも賑わってます。地元の人が行くからです。だからゆうひパークにしてもお魚センターにしても地元の人が行かないところは観光地ではないところは絶対こういうことになります。だから地元の人が行くようなことを考えないともうだめだと思えます。

産業経済部長

同感でございます。地元の人に愛される。そういった施設が遠来の客も呼びますし、先般もお盆とか帰省された方がかなりいらっしゃると思えますがそういった方々がお魚センターへ案内されるとかゆうひパークやアクアスをご案内されるといったことを考えますと地元の方から信頼されるいい施設になっていくということは重要なことだと思っております。

笹田委員

これをいってもどうなるかわかりませんが。たとえばゆうひパークに行けば安いアジがあるとか、地元の方が買いやすいものがあるとかで人が寄ってもらう仕掛けがあれば、寄ると思えます。お土産しかないところに地元の方は行きません。イズミに行ったりトライアルに行ったりして買い物をします。ではなくてここでしか買えないものがあるならば、実際にどこの道の駅に行っても、地元の方が地元の物を買うのにスーパーではなくてそこでがんばっておられる道の駅に買いに行きます。自分も見ましたし皆さん見ておられます。そういったことをしないと、浜田市が関わっている道の駅がだめになると思えます。しっかりそこを考えていただきたいと思えます。

西田委員

さっき部長が浜田の魅力づくりについて言われましたが、自分もゆうひパークは位置的に浜田の海と夕日だと思います。それを最大限に活かすようなことで、これから取り組まれたらいいと思えます。重点道の駅に選定されて、伺った話の中では選定されたことによっていろんな施設も

るもろ、中にはこれからは若い女性とかが癒される空間にするとか、トイレが移動するとか伺っていますが、具体的な計画は今から示されると思いますが、事業的にはいつ頃からかかれますか。話せる範囲でお願いします。

産業政策課長

今、ゆうひパークはまだにつきましては、環境整備とかいろんな面での改修を計画されています。トイレですが国交省がつくるものでございますが、今年度実施設計を準備されています。来年度以降のところでは施工ということになっています。場所についても移動ということによって現在お土産店のところに設置するというので、トイレを利用される方がお店の様子を見られたり買い物をしたりできるようにするという事です。それ以外にテラスとかドックランとか予算が伴いますので国の事業を有効に活用できるように今検討しているところです。

西田委員

せっかく国交省がやっていただけるということなので、国の言われるがままに、この範囲内で考えましてこの範囲内でお願いしますとかではなくて、もうちょっとしごんならずになってもらいまして、浜田もせっかく国の予算を使うのであれば、ここまでやったらどうでしょうかとかこちらから働きかけた浜田の道の駅のリニューアルの中身をできるだけこちらの要望を言っていたら、浜田の魅力を最大限活かしたものにしたいと思っています。

牛尾博美議員

ゆうひパークの話から高速の話まで行ったのですが、もうこれが国交省にいても無料や安くはならないとある程度確定しているのかもしれませんが、ゆうひパーク、お魚センターも含めて西にある店が疲弊しているというのは入り口の高速道路そのものの対応がなっていないので、ひとつの市としては難しいかもしれないが、金城カントリーやオリックスでも広島から来る人に対してはカードを提示してもらえれば片道無料になる補助金を出している。もっと具体的にお金があるとかないとかいう部分があるが、具体的に広島から来る人で浜田で商品を買った人はレシートを見せればどういう方法をとるか分からないが、半額補助とか500円補助や何割補助しましょうとか具体的な方法を取るべきだと思っている。そうしないとこんなことをずっと続けていっても浜田の店が何年経っても広島から東京からみても魅力のある店がほんとにできるかどうか魅力のある観光地になるかどうか非常に遠いと思う。具体的に浜田がどういったことをしているか数字など提示する必要があると思う。そうしないと2450円とか2600円かかるとか、1800円になるように補助しましょうとか、そういう具体的なことを浜田だけでなく、邑南町とか。益田が実際に石見空港の推進をしています、浜田も数千万出していますが、それと同様に入り口部分に来やすいように、補助制度をもっと予算的な部分で浜田の考え方として他を活性化させる意味でもう少しお金を突っ込んで、ただ国や広島に言うだけではなくて、浜田ができるだけ予算を投入してでも広島の方に来ていただきやすいような料金設定、補助設定をもっと具体的に考えるべきであると思っている。お魚センターもゆうひパークも行っても何をやっているのかわからない、やっぱり人というのはここに行ったら何かやっているという、ごちそう物語の旗がいっぱい立っているというわけでもないところになかなか人が行きにくい、ここに行けば何か動いているという、いいことがあるとそういうアクションみたいな

ものがこれから出でくると思うのですがその一番大事なことが高速道路のことだと思っている。お金が必要だと思うが重点を当てて具体的にどうすれば、皆さんに来てもらえるか、安いだけで来てもらえるか商工会議所とか邑南町、益田、江津とか一緒に考えながら是非やっていただきたい。テーマやタイトルだけ言っても現実に何をしているか見せる段階だと思っている。

産業経済部長

高速道路のことはほんとに良く分かります。そういう気持ちは十分もっております。議員の皆さんのお知恵も拝借したいのですが、確認ができればやりたいと思っています。チケットを持ってきてもらってそれに5,000円、1,000円出しますという制度を作りたいと思っていますが、ETCの確認をどうやって取るかというのが問題で、他の施設ですと広島に住所を確認するだけでもいいと思いますが、それを浜田市として行政として交付金でありますので確認だけあります。萩石見空港ですとチケットを確認して補助金を出していますが、高速道路の件は何とか確認することができないか模索していきたいと思っています。

牛尾博美委員

確認の話ですが、オリックスも金城カントリーもETCカードを挿せば利用したことがわかる機械がありますので、そういったシステムをもうちょっと考える必要があると思います。浜田市も気持ちを決めて議会も応援します。浜田の商売も疲弊しますので、でこの辺でしっかり対応する時期だと思っています。この話は全体で話をする必要があると思います。

布施委員長

汗と知恵を絞ってやりましょう。一時間以上経っておりますので暫時休憩いたします。

[11 時 23 分 休憩]

[11 時 35 分 再開]

布施委員長

再開いたします。

(5) 漁業別水揚げについて

(6) BB大鍋フェスティバル2015について

(7) Sea-1グルメフェスティバルについて

水産振興課長

この件について、一括説明をお願いいたします。

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。

串崎委員

数字的なことをお聞きしても難しいと思いますが、今後の見込み等お聞きします。

水揚げ比較表ですが、大中型旋網で昨年より6億、中型旋網地元外で1億であわせて7億ということで、ここがしっかりしていれば昨年並み以上になると思っていますが、担当部署として今後の見込みはどうでしょうか。

水産振興課長

私どもとしても、非常に憂慮しておりますが、見込みですが、大中型旋網の水揚げ、いか釣り船水揚げなど下がっております。大きな原因として浜田沖で漁場ができていないということが原因です。市議会の一般質問でも市長も答弁いたしました。ポートセールスなどやらさせていただいてありますが、浜田沖に魚がいなければこちらに魚を入れていただけないということもございます。水揚げの状況ですが、昨年並みにい

けば、今後、50億切れるかどうかですが、生産者の方も魚を取ろうとがんばっています。市のほうもサポートするようにならざるを得ない状況です。

串崎委員

このたびのBB大鍋フェスティバルは合併10周年記念となっていますが、このチラシですが、合併10周年記念という文字が大変小さいです。10周年になれば何かあるのかと言えば、グルメフェスティバルがあるということなのでしょうが、10周年というのがかかにも寂しい感じがする。真ん中に駐車場の位置が変わりましたと書いてありますが、中心に駐車場の記載があるのはどうだろうかという気がします。見直しをされますか。

水産振興課長

このチラシについては、実行委員会の事務局の商工会議所青年部が考えられておられて、今現在、印刷されて配られています。合併10周年記念の字が小さいとか意見がありますが、駐車場の位置が変わっているというのが今年から来場者にとって一番知っていただきたいということを聞いています。議員さんから話があったということをお青年部にお伝えしたい。

牛尾副委員長

青年部と言えば、私や野藤議員が先輩になるわけで、後輩が作成したチラシの出来が悪いということであればお詫びを申し上げたいと思います。民間の視点で作成したので、ご容赦願いたいと思います。

BBで思い出すのは、気仙沼の支援を議会を挙げてした覚えがあるのですが、東日本大震災から来年3月で5周年になりますので、やはり海のつながり、特産のつながりがあると思うのでこういう大きいイベントをするときには被災地の支援を柱として打ち立てて支援をするんだということを考えていただければ、私も早い時期に言ってなかったのが、時期が遅くなったと思うのですが、来年かもしくは節目の時期に出来れば水産つながりの気仙沼の産品を市民の方に買っていただくという浜田のイベントの付帯イベントとして是非やっていただきたいと思います。以前のBBのときに特産品を市が中心となってやっていた。今でも3名ほど気仙沼に行っているわけですからそういったことを考えていただきたいと思います。

笹田委員

市外業者3店舗は来ていただけたらと思いますが、9月号の広報で募集しているということなのですが今現在で何店舗くらい募集がありますか。

水産振興課長

募集はかけていますが、新たな店舗の募集はありません。こちらの方で水産高校、商業高校、県立大学へ出展をお願いしているところです。水産高校については出るということ聞いています。

市議さんの関係で、浜田の海で生活する会のほうも昨日お声がけをさせていただいたところです。漁礁共同組合にも強力をお願いしたいと思っております。10月2日を待たずに動いていきたいと思っております。

笹田委員

是非、浜田の魚の広めていくということはいろんな方に参加をしていただきたいと思います。出展料はどのくらいでしょうか。

水産振興課長

出展料につきましては、一区画26,000円をお願いをしております。

笹田委員

これは、市外から来られる業者にもお願いをしているのでしょうか。

水産振興課長

市外から来られる方についても同じ出展料26,000円をお願いをしておりますが、ただし、旅費とか宿泊費については実行委員会で負担したいと思っております。

(8) 千畳苑改修計画（案）について

(9) 「ようこそ浜田！ 共通商品券」 発行事業について

布施委員長 観光交流課長 串崎委員	この件について、一括説明をお願いします。 (以下、資料をもとに説明) 平成28年度の改修見込み6100万円ですが、やむを得ないと思うのですが、資料の収支計画ですが、利用状況のところでは27年が15,000人で28年度16,000人となっています。25年は12,000人と人数が減っていますが分析についてはどのようにしているのでしょうか。29年度の改修見込みが出ていますが、外壁が3,500万円、ガラスの前面張替えが2100万円と計上してあるのですがそういった点が気になるのですがどうでしょうか。
観光交流課長	平成25年度の宿泊者が減少しましたが、この年に現在の指定管理者のファンスペースになりました。前の指定管理者との調整がつかず、準備に手間取ったということで減少したところですが、26年度は新メニューの開発やアクアスとの宿泊連携などさまざまな取り組みをされて、宿泊者数は増えました。27年度も26年度を上回る状況で利用が増えていますので収支計画にあるようになるのではとっております。
串崎委員 観光交流課長	指定管理者が変わってこのように利用客が増えた理由が分かりますか。 先ほど申しましたが、地域との連携を大切にされています。地域の人に使っていただけないと市外、県外からの利用が増えないとの考えをお持ちです。地域の行事に出かけたり、食につきましても新メニューの開発も毎年されていますし、宿泊プランにしましてもアクアスと連携をしたものを造成をされており、今までにない対応されています。
串崎委員	15,000人こられていますか、地域の方がどれくらいか把握されていますか。
観光交流課長	宿泊者数ですので、基本的に地域の方は宿泊されていないとっております。
串崎委員	かなりの金額をかけてやることですので、分析をやっていただきたい。資料に出雲のくにびき荘、さんべ荘など記載されていますが、これらの施設の経営の分析をされていますか。
観光交流課長 串崎委員	他市の施設の国民宿舎ですが現在のところやっています。 これだけの事業をされるのであれば、分析をしながらやっていただきたい。
牛尾副委員長	何時この話がでるのかなと、一般質問でも言及しましたが、突然でるものですね。終わりにというところを読むと過大な宿泊者の設定ということで、今の執行部に責任があるわけではないのですが、当初建替えのところでは厳しい指摘をさせていただいたことを思い出しますが、予想とおりこのようになったなと思いました。費用をかけてあの施設を作って、改修がおきた、改修をしてリシップではないですが、15年くらい程度延命できるということが担保できれば、今ある施設を有効利用できればと思います。来年、高校総体があります。浜田全体の宿泊のキャパを維持をすることが優先順位とすればこの程度の修繕費は仕方が無いのではと思う一方、建替えは難しいと思いますが譲渡ということもあります。現時点で考えると民間の波及効果も考えれば15年程度延命するのが妥当ではないかと思えます。スケジュールに書いてありますが、息の長い事業をやっているのですから、所管委員会に早い時期に説明をするべきで

はなかったかと思えます。この事業については当初から意見を申し上げていますが、今の執行部に責任はあるとは思いませんが、行政はエンドレスですのでその立場にある方が責任を負わなくてはいけないと思えますが、いろいろ失敗してきて今の千畳苑があるわけですから、相当な金額を突っ込むのであれば、リサーチをしてもっと個室をつくるとか今のままで改修して15年延命ということではなく、もう少し突っ込んで稼働率を上げるような改修の仕方をしてからではないと、はいそうですかということにはならないと思うのですが。どうでしょうか。

観光交流課長

現状復旧するという改修案になっておりますが、それをもっと客室を改装するとか充実する方向に手を加えるということになると経費がさらにかかってしまいます。現在の空調や温浴については待ったなしの状況にあり、平成28年度の段階で改修をさせていただきたい。その後の改修の全体像については議員の皆様方に相談させていただきたいと思えますが、28年度の改修はしないと営業が出来ない状況にありますのでご理解をいただきたいと思えます。

牛尾副委員長

もっと早い時期に情報を出すべきではなかったのでしょうか。千畳苑というのは観光を考えたときに、宿泊のキャパが大きいのでこの圏域に与える影響が大きいと思えます。待ったなしの状況であればもっと早くこの状況であったのだと思えますので、私も全然気配も気が付かなかったので、コントロールされていた部分もあるかと思えますが、今後のこともあるので早めに情報を開示させていただきたいと思えます。

笹田委員

特別会計から一般会計にするということで改修事業に起債が充当できるということが一番のメリットということだと思えますが、今後、公設市場とかも改修事業とか出てくると思えますが、特別会計から一般会計にするということが出てきますか。

産業経済部長

牛尾副委員長からのご指摘ですが、今の実情ですが来年度に向けてサマーレビューも行ってきたところですが、今の原型予算でいろんな対策も取ったところですが、どうしても修繕をするのに財政のほうとしても有利な起債を充てていきたいということもありまして、少しずつという改修という中で指定管理者から2160万円をいただけるわけですが、その中で年次計画を立てていたわけですが、会計の移行というのは大変大きなもので財政との話で出てきたところで、申し訳なかったと思えます。続いて笹田委員からのお尋ねですが、これについては財源のこともありまして、仲買の状況ですが市場の大きな改修をしていますが、今後計画をするということにしており、まず市場の状況を見て仲買については具体的にこうするということにはいたっていませんが、来年に実施計画をしますが、関係者として仲買はどうしたらいいのか位置や導線、使い方、色んな面で市場の実施計画、車や人の導線、それらを絡めた実施計画が出た後に関係者の方と、今の市場はどうあるべきか、今後の市場は浜田市としてどうしていくか、充分考えていかなければと思っています。財政協議等も充分しなければいけないが、公設水産物仲買売場特別会計でやっているの、その時に協議しなければならぬと思っています。今の段階で明確にお返事が出来ないことはご理解いただきたいと思えます。

布施委員長

その他ありますか。ないようですので(9)について、何か質問等ありますか。

(「なし」という声あり)

では次に移ります。

(10) 美又温泉国民保養センターについて

布施委員長 この件について、金城支所産業建設課長。
金城産業建設課長 (以下、資料をもとに説明)
布施委員長 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。
牛尾昭副委員長 中核施設を作る話が当然あると思いますが、検討委員会で話をする中で例えば中核施設には5億かけられるとか3億までかけられるとか、そういう前提の話がないと回らないと思う。その辺はどうですか。
金城産業建設課長 ご指摘の部分も、規模・機能・金額・公設民設も踏まえて今後検討するように、有識者からご指導を仰いでいます。ご指摘を踏まえてまた検討します。
串崎委員 毎週水曜が定休とのことですが無休ということについてはどうですか。あと、今年度事業ですが川の景観はどうだったのか。検討会議委員の3名の中に浜田の方で金融界の方がいるとの話でしたが、浜田県立大学関係はどうだったのか。これら3点についてどうでしょうか。
金城産業建設課長 水曜の定休はメンテナンス面と、パートさん等の人員体制並びに勤務時間の問題によるものです。河川の問題は、浜田市景観計画において美又は地域指定ということで地域を含めて合意形成を行っています。その中で河川景観や自然と親しむのを念頭にまちづくりを進めていくと地元ともお話しています。それから検討委員会の中での県立大学ですが、最初は県立大学の先生方も考えていましたが、観光面のハード・ソフトについてご専門の方が見つからなかったため、県外の専門家お二人を選任しました。
布施委員長 その他ありますか。
(「なし」という声あり)
では、ここで暫時休憩します。再開は1時半からにします。

[12 時 26 分 休憩]

[13 時 30 分 再開]

(11) 市営住宅駐車場整備及び使用料の徴収について

布施委員長 この件について、建築住宅課長。
建築住宅課長 (以下、資料をもとに説明)
布施委員長 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。
笹田委員 駐車料を取られ、市民の方の負担が増すと思われれます。他市の状況はどうなっていますか。
建築住宅課長 益田、江津、安来、松江、出雲、雲南、大田、どこも駐車場使用料を取っておられます。全ての住宅ではないですが、建替えの済んだ住宅、整備が出来ない団地を除いて実施されています。
笹田委員 課題部分で、敷地内に管理戸数分の駐車スペースがないため整備出来ないとなると、そこで不公平感が生まれると感じますがどうお考えですか。
建築住宅課長 そのとおりですが、うちに直に話は来ていません。今は何となく団地

笹田委員	<p>内の話し合いで停めておられるのだと思っています。</p> <p>車社会になっており、若い夫婦だと車2台持っておられます。なので2台確保となるとまた戸数が足りない所が出てくると思いますが、その場合は抽選等されるのでしょうか。</p>
建築住宅課長	<p>2台確保出来る敷地はないので、駐車場が不要な方の分の空きが出てくる可能性がありますので、そういった所では抽選等をして2台目を停めていただくことは可能だと思っています。</p>
笹田委員	<p>1区画1,000か2,000円程度の予定とありますが、市営住宅一律で値段が決まるのでしょうか。高い所は2,000円、安い所は1,000円という予定なのでしょうか。</p>
建築住宅課長	<p>一律ではなく県の算出方法により土地評価額や整備費用から算出しますが、当然地域性もあるので微妙に単価差が出ます。</p>
笹田委員	<p>最後にしますが免除制度の検討の中で検討されていると思いますが、出来ればここに多子世帯に優遇するといったことがあれば、市営住宅に住まわれているご夫婦等は喜ばれると思います。検討するおつもりはありませんか。</p>
建築住宅課長	<p>多子世帯や色んな免除制度の必要性を検討しなければいけません、基本的には使われる立場では原則として使用料を納めていただき、免除をいかに作るかは、今後の条例までには考えていきたいと思っています。</p>
布施委員長	<p>その他ありますか。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> <p>では、この件については終了します。</p>

(12) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について

布施委員長	この件について、災害復興室長。
災害復興室長	(以下、資料をもとに説明)
布施委員長	報告が終わりました。委員から質疑はありますか。
	(「なし」という声あり)
	では、この件については終了します。

(13) その他

布施委員長	<p>その他、執行部からありますか。</p> <p>(「ありません」という声あり)</p> <p>では最初に申しあげました、この報告事項は全員協議会に提出すべきもの、資料配布のみとすべきもの、提出の必要ないものを決定したいと思います。執行部からは2番と8番と9番については、市民に今後すぐ関連するものですから資料を添えて説明したいという申し入れがありました。それを踏まえて委員の皆さんに諮っていただきたいと思っています。</p> <p>(1) 資料のみ</p> <p>(2) 説明</p> <p>(3) 資料のみ</p> <p>(4) 資料のみ</p> <p>(5) 資料のみ</p> <p>(6) 説明</p> <p>(7) 資料のみ</p>
-------	--

- (8) 説明
- (9) 説明
- (10) 説明
- (11) 資料のみ → 説明
- (12) 資料のみ

これで皆さんよろしいですか。

(「11点目は説明して欲しい」という声あり)

はい、11点目は説明して欲しいという声がありました。委員の皆さんよろしいですか。

(「はい」という声あり)

では執行部の方は、今決まりましたように全員協議会で説明なり資料なりを準備してください。

以上で報告事項を終わります。

8 所管事務調査

(1) 誘致企業の状況と雇用情勢について

布施委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わりました。この件で委員から質問等ありますか。

笹田委員

以前に企業誘致されて、1回出られてまた帰ってきたりする企業がありました。ここに書いてある企業の経営は安定しているという認識で良いですか。

産業政策課長

企業によっては会社増設等をされて雇用を増やす所もあります。今は特に困った状況等は伺っていませんが、心配されているのは雇用の確保です。

布施委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

では次へ移ります。

(2) 夏期の主要観光施設の入込客について

(3) 夏期のイベントの入込客と経費について

布施委員長

2件一括で説明をお願いします。観光交流課長。

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わりました。(2)について委員から質問等ありますか。

(「なし」という声あり)

(3)についてありますか。

西田委員

市内で開催された各種イベントに足を運びましたが、言われたとおり天候が良く大変賑やかでした。いつも思うのは、弥栄の出店者は各集落単位のテントで、オリジナル手作り品を地域の方々が出されているのがメインになっており、浜っ子夏祭りは露天がびっくりするほど並んでいて、地元業者コーナーもあつたりしましたが生ビールと揚げ物……同じような店ばかりのような気がしました。露天商や地元の方々の出店料金はどうなっていますか。

布施委員長

もし答えられる課があれば。観光交流課長。

観光交流課長

浜っ子夏祭りの出店料については、早速確認して報告します。

西田委員

無理なら良いです、聞いたからどうこうではないので。今年は非常に賑やかだった印象を持ちました。いつも思うのが、浜っ子夏祭りにも益田の夏祭りにも年によってどちらも行くんですが、同じ日に近いところだと三隅にいる人間が思いました。前にも言っていて何度も言う感じなんです。いつも思いは一緒で。今年は益田に行こうか浜田に行こうか、見比べながら。良い情報があればお伝えしようかという気持ちでお互い行っているんですが、もし1日ずれるとか何か上手いこと調整が出来れば、一つにもっとたくさん入込客が期待できるような気がします。でも今年状況を見ると6万4000人ということで、これ以上来てもらわなくても良いと思われるのか、それともやっぱり石見で調整して、山陽からの入込客をもっと増やそうと思えば隣市で調整したらどうかと思うんですが。どうでしょうか。

観光交流課長

確かに夏場の大きなイベントが重複して開催されるとのことで、それを別にすれば入込客も増えるのではというご提案です。私もそのように考えています。新聞報道によると東部の方の祭りも調整をされたけれど、結局調整が上手くいかなかったという情報が入っています。ただ、石見地方においては調整を実施した例がないので、出来るかどうかは置いておきますが、調整をする必要があるのかなと思っていますので、考えさせていただきたいと思います。

西田委員

祭りが終わった後、花火大会の時は素晴らしいんですが、色んな経費をかけられていて、「本当に打ち上げ花火だ」と例えられています。打ち上げて終わりみたいなことをいつも実感します。皆さんが楽しんでるからそれはそれで良いとは思いますが、終わった後にはいつも何か虚しさを感じています。賑やかではあります。それだけですぐ終わってしまうのが、言葉では言えない虚しさを感じます。折角これだけたくさん集まるなら、もうひとひねり工夫を凝らして、山陽方面からもたくさん来られているので、何かもう一つ地域性を出した取組みが出来たらと思うんですが。提案はないんですけど、そういう思いがいつもしているので、頭に置いていただけたらと思います。

串崎委員

弥栄の祭りにおいて中村部長には大変ご尽力いただいたことをお礼申し上げます。弥栄の方もかなり前年比より多くお客が来ています。決してこの良さを削ることなくやっていただきたいと思います。

牛尾博美委員

この2つを見て思ったんですが、前年比で増えた所減った所、天候の関係や様々な理由があると思いますが、どれも皆PRが足りないと思います。折角楽しい面白い、元気の出ることをやっているにも関わらず、知らないと言う人が本当に多いんです、浜田市内は。前に言ったことがあると思いますが、以前石央ホールで音楽を聞いた時に隣の人が「浜田のレベルは低いですね」と私に仰ったんです。文化程度が低いと。そういう話があったんですが、浜田市民ほとんど知らないんですよ。今日何かあるかということ。だからそれぞれ皆一生懸命やっつけらるんだらうけど、チラシ・ポスターをお作りになるのは分かるけど、それこそ西田君の弁じゃないけど、そこに何か一工夫……PRの部分をもうちよっ重点的にやっていかないと、そこだけで終わってしまうことが多分にあると思うんですよ。なかなか難しい話なんですけど、その辺どのようにお考えですか。

産業政策課長	牛尾委員さんの言われることもそのとおりだと感じています。今年度の事業で「浜田を元気にする情報発信事業」というのを上げていますが、これは浜田市ではまとく・はまごち・はまおくの3セット、他にもコンベンションや合宿、そういったサイトを立ち上げていますが、それらを集約する新しいサイトを立ち上げて、これを見れば開催行事・食事・宿泊の情報が網羅出来るようなものを作れるよう目指しています。しかし立ち上げてそのサイトを開いて貰わないと意味がないので、見てもらえる工夫をしながら準備しています。また方向が出たらこの場で報告したいと思います。ご期待ください。
牛尾博美委員	期待します。PRというのはアイデアもいるしお金もいります。10パーセントというのではないんです。浜田市民6万8000人の最後の一人まで知らせるなんてことは不可能なんだけど、ケーブルテレビを使ったりクチコミを使ったり、様々なツールを使って。何をやるにしてもその所を経済部はしっかり考えてください。
布施委員長	他にありませんか。 (「なし」という声あり) では次へ移ります。

(4) 政府関係機関の地方移転に係る提案について

布施委員長 地域PRJ推進室長 布施委員長 飛野委員	執行部から説明をお願いします。地域プロジェクト推進室長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。この件で委員から質問等ありますか。 県を経由して云々である、この施設について全国で10の自治体から競合されていると説明がありました。それを聞くと、どうしても浜田に持ってきたいという意気込みが今一つ分からないと解釈しました。もし浜田市がこれを強力に進めたいのであれば、10の競合に勝たなければいけない。どういう戦略で臨むかということまで考えておられるか、様子を見てから今から考えるのか。
地域PRJ推進室長	誘致に際して具体的に国県を飛ばして研究センターと情報のやり取りをしているわけではありません。今回手を挙げられた所は全て、県や国に対してはありますが、誘致したい企業とのやり取りは殆どされていない状況です。従ってその研究機関を誘致するためにどういう施設が必要でどのくらいの経費がかかって、という部分がまだ見えてない状況ですので、まずその辺りも考えながら本当に誘致していくか、もう一度判断するタイミングがあらうかと思っています。手を挙げなければ見えない所もあるので、状況等を見極めながら判断させていただきたいと思います。
飛野委員	是非、浜田の基幹産業である部分について来たら、浜田にとって何か良いことが起こってくるのではと誰もが考えます。少々ハードルが高くてもチャレンジする。瀬戸ヶ島の部分もあるし、いかに他の自治体より早く行動を起こすかが決め手になってくると思います。どうか前向きによろしくお願いします。
笹田委員	瀬戸ヶ島を使うとのことで。昨年からは瀬戸ヶ島検討委員会が金を使ってやっているにも関わらず、急に話が出てきてびっくりしています。では昨年話と今行われている話は一体どうなるんだろうかと思っています。

更にこの予定地だとすると間違いなく来ません。水も全然来ません。だったら県の協力を得て県有地に持っていくなら話は分かりますが、外れた所に呼んで来るわけがないです。そういったこともしっかり考えた上でこの計画を立てているのかも疑問です。それについてお願いします。

地域PRJ推進室長

瀬戸ヶ島埋立地の活用計画については、お手元にある浜田市有地より北側にある約500ヘクタールの所で絵を描こうとしているので、直接関係はない場所で誘致候補地にならないか考えていました。誘致の一つの判断材料として、近隣への研究機関の集積等がありました。当然あの界限には県水産技術センターがあったり水産高校があったり、また漁協エリアの一部ということでそういうフィールドもあるので、それらを考えるとあの場所が適地ではないかと思って手を挙げました。

笹田委員

確かに検討されている土地ではないかもしれませんが、瀬戸ヶ島の埋立地と言うと、僕らからすればあそこも含まれるわけです。市がやっていかないといけないことかもしれませんが、県にも一緒になって戦ってもらわないと、あんな所に来てくださいと言ってもまず来られません。課長は知っていますか、あそこ水来ませんよ、海水も何も。パイプなんか引いてないですよ。ちゃんとパイプが入っている土地もまだ空いているわけです。養殖の関係施設だと聞いていますが、水の環境だとかを全てクリアするのであれば、元々水産栽培漁業の関係で立てた埋立地なので、市もそういうことを協力的にやっていきたいという、今現在の意見だと思います。振って湧いた話かもしれませんが、本気でやるのであれば検討委員会を再度やって、意気込みをもって話をしてくれるなら分かりますが、検討委員会と違う所でやるから良いでしょうという意味にしかな聞こえません。それではおかしいと思うし、僕らが今まで頑張ってきた渚の交番なんかも、私らからすればないがしろにされている感じです、正直。放置されていて、日本財団が待ってくれています。折角こうして一緒になってきたにも関わらず、降って湧いた話をあのように言われると私は本当に残念だし、今まで一緒にこうして話し合いをしてきたのは何だったのかと思います。部長どうですか。

地域政策部長

委員の仰るように瀬戸ヶ島の利活用は非常に重要な問題だと思うし、そういう認識で我々も取り組んでいます。これまで利活用研究会で検討しているエリアの中で私どもが勝手に絵を描くことは基本的にしないという意味で、今回は区域外を想定させていただいています。それと、全員協議会で私がご説明したように第一次の締切では手を挙げていなかったわけですが、色々なご意見もあって急遽手を挙げさせていただいたということで、今の段階に至るまでの限られた期間で、候補地がないと手が挙げられないとのことだったので。この土地にはまだ色んな問題があることは私どもも承知していますが、国に出せる最低限の要素はクリアできるということで、ここに絵を描かせていただきました。

先般の江角議員からの一般質問にもお答えしたように、瀬戸ヶ島の今後の方向性については早急に内部調査もしていますし、議員の皆さまからも養殖のご提案等もいただいているので、それらを踏まえて早急に研究会、まだ継続しているので開催なりをして、しっかり議論して、その中にこれも入れた方が良くという方向性が出れば、また改めて場所の変更等の提案もさせていただきますし、先ほどプロジェクト推進室長が言

いましたように9月末には国のヒアリング等もあります。そこで少しずつ、今度はどういう条件が出てくるかも見極めながら進めていくということで。私どもも瀬戸ヶ島関係は非常に浜田市水産業の将来を担う重要なものだと思っていますし、日本財団におかれても常に情報交換しながら、浜田市の現況をお伝えしてご理解をいただいています。基本的にはこちらの考えが纏まった段階で、調整していただいているように日本財団の補助金を使いながら渚の交番等も整備していただく。これは市がということではありませんが、皆様のご協力をいただきながら計画どおりやっていくということで、基本的にはそういう考え方は変わっていませんし、是非それを早く実現出来るように今努力しています。

笹田委員

もちろんそうしてもらわないといけないんですが、今回のことは早めに検討会を開いていただいて、こういう話があって浜田市は手を上げるんだけど瀬戸ヶ島のこの土地を使えば可能性が高いから、ということで検討委員会をされて挙げられるなら分かりますが、これを挙げておいて後から検討委員会に言って、こっちの土地の方が良かったから動かしますと言えればまたおかしい話になるでしょう。

僕一般質問の時に養殖の話をしましたけど、養殖が出来たとしても事業者がいないと難しいと市長は仰いました。瀬戸ヶ島なんてまさにそうじゃないですか。ああして話をしている事業者が現れないじゃないですか。卵が先か鶏が先かじゃないですけど、こういったことは本気でやるなら本気度を見せてもらわないと。いい加減に……後から手を挙げたからこの土地どうにかならないかな、という感じにしか聞こえません。僕らは5年以上、この土地の利用を一生懸命考えてきました。それをそんな感じでやられると悔しいです。情けないです。

地域政策部長

繰り返しになりますが、早急に方向性を出すように今準備に入っていますし、出来るだけ早く皆さまにもお示し出来るようにしていきたいと思えます。まず皆さまに、今調査研究していることをご報告して、併せて研究会も開けるようにさせていただきたいと思えます。

牛尾昭副委員長

同僚議員から厳しい指摘があったので、分かるような気がしますが。本来瀬戸ヶ島のあるべき姿からすれば、今回の話は降って湧いたようなありがたい話だと思います。本来あそこは何のために埋め立てたか。同僚議員はあのように言ったけど。瀬戸ヶ島の検討会がありますが、そういうことだけじゃなくて、浜田市の水産業をどうするかという市益を考えた時に、もし国の機関が来てくれたらこんなありがたい話はない。それを中心にしながらまたシフトし直せば良いということで。僕は頓挫した瀬戸ヶ島計画については360度網を広げて、何があそこに作れるのかという広い視点で立ち向かわないと。反論するわけじゃないけど少しスタンスを広く持って、あらゆる可能性を持ってここはやっていかないと難しいと思えます。ですから是非そういうスタンスを持って。浜田市の市益を全面に挙げて、是非これを実現するように考えていただきたい。その上で従来検討しているものについては、可能性があるかどうかを考えながらやっていくべきだと思います。意見として申し上げておきます。

布施委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

では次へ移ります。

(5) 次期浜田市総合振興計画等について

布施委員長

これについては全体の説明がありましたが、本日は当委員会に関連するものについて説明がありますのでよろしくお願ひします。

(以下、各部署から資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わりました。ただいま説明を受けたのは浜田市の最上位計画であり、総合振興計画については市の多様な施策でもあります。委員の皆さんにはこれを真摯に受けていただいて、部門別の提案・提言をしていただきたいと思ひていますが、この件については今回が委員会としては意見を伺う場ですので、回答は求めない、提案・提言にしていただきたい。また執行部に置かれましては、出された意見に対しての答弁がありましたら、手を挙げてその都度またお願ひしたいと思ひます。

今日出された委員の意見については、策定会議やパブリックコメント等、時間的に余裕がありませんので、一括して回答なりを文書でお願ひしておきたいと思ひますが、それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

では、この件について委員から何かあればお願ひします。

飛野委員

一般質問でも申した石州和紙についてです。お宝として浜田市はどう捉えているのか。また、ここに文言がほとんど出てこないということはそれほど大きなお宝ではないと受け止めているのか。意見を聞いてはいけなひですか。書き加えていただくよう意見として申し上げます。

政策企画課長

石州和紙については部門別の計画にはあまり無かつたかもしれませんが、自治区別計画の中の、資料1の28ページ、三隅自治区の計画の中の現状と課題の所に、地域の活性化に向けた更なる活用を進める必要があるといった記載をし、主要施策の中でも産業振興の中に和紙技術者の育成等の記述を挙げ、また目標についても何点か石州和紙の振興に向けての目標を掲げさせていただひています。他にも必要無いかについてはまた検討させていただきます。

飛野委員

それは心得ています。三隅自治区の部分については数値目標も掲げてありますし。これは浜田市全体のお宝であるという観点からいけば、自治区の部分でも良いですがもうちょっと前の方に、例えば1項目入つても良いんじゃないかと私は認識しています。その認識が間違っていると云われたらそれで終わりですが、飽くまでもそういうものじゃない、立派な浜田のお宝であれば三隅自治区の所だけでなく前の方にも1行入れるくらいのことをして、この10年やっていただひたい。

布施委員長

はい、意見としてお願ひします。その他ありますか。

牛尾昭副委員長

資料2に基づいて意見を申し上げます。最初7ページ、漁業資源確保対策の欄ですが、養殖業についての記述があります。我々も先般、理大と愛媛大学に伺つて意を強くしたことがあります。これ普通に養殖業の可能性と書いてるので、養殖業と言へば海を使った養殖の認識がありますが、是非陸上養殖の可能性という言葉を書き加えて貰えればありがたいと思ひますので、ご検討をお願ひします。

それからこれも同じ資料で言うんですが、どこかに歴史館と書いてありました。周辺の歴史も含めて総合して埋め込むような歴史館でしょうが。総合振興計画の資料には「歴史神楽館」という記事がありました。

是非とも歴史館と神楽は別仕立てで書きこんでいただきたいと思います。先般も言いましたが、西田議員と一緒に、神楽は神社で舞うのが本来のあるべき姿だと思いますので、そういった資産を大事にしながら神楽を残していくのがあるべき姿だと思っています。是非神楽館と歴史館の記述は、各々用途が違うので違う位置づけをしていただきたいと思います。

それから15ページの地域間交流国際交流の推進ですが、これはどこかの資料で国際観光というテーマがありましたが、浜田市は海外に友好都市を持っています。だから友好都市を拠り所とした国際観光を当然やるべきだと思います。そういう記述を是非入れていただきたいと思います。

それから先ほど言った神楽館と歴史館について58ページ城山公園整備事業に、歴史神楽館建設とあります。是非分けていただきたいと思えます。

それから61ページ、市営住宅公営住宅等々の適正配置、住宅環境の整備という項があります。例えば内田住宅だとかは老朽化寸前という中、各地の重なる部分の住宅を例えば統合して新しい住宅を、住宅マスタープランが新年度に改定だと聞いていますが、そういった新しいプランに具体的なものを入れながら、現行古い所が何ヶ所かあるので、それを集約してするような計画の方が、具体的な書き込みでされた方が分かりやすいように私は思います。この辺も意見として申し上げておきます。

それから資料1の方ですが20ページ、地元商店街の振興という記述があります。ご承知のように今年1年間を見るだけでも商店街の地盤沈下が過去何十年の中で見たことない状況が始まっています。何が特効薬なのかは非常に難しいんですが、ここにも書いてあるんだけどもう少し工夫していただいて。僕も適当な文言が見当たらないんだけど、もう少しこの9行の中の言葉を変えていただいて、商業者がこのページを読んで「ああそうだな」と頑張る気持ちが持てるような記述を考えていただきたいと要望しておきます。

はい、今の提言についてよろしくお願ひします。

まず6ページの水産業振興の担い手確保対策の所です。ふるさと漁業研修生育成事業の目標値が書いてないで、是非とも書いていただきたいと思えます。その横の、先ほど養殖業の可能性は牛尾昭委員が言ってくださったので。今後この中でもあわびの稚児放流等の実施と書いてありますが、その目標数を謳っていただけたらと思えます。

それと瀬戸ヶ島埋立地活用事業がこのページの3番、浜田漁協エリア活性化と14ページ2番、おもてなしによる受入対策の向上と滞在型観光の推進と書かれていますが、先ほど部長の答弁があったように、渚の交番についても安全安心対策の所にも1つ書いていただきたかったと思えます。

あともう一つ、先ほど中高生のアンケートで浜田が好きだというのが多くて嬉しく思いましたが、浜田の悪い所、仕事がない、雇用がないから難しいとか。総合振興計画の中に浜田市の仕事、一次産業から六次産業までありますが、今まで衰退してきたことが分かるようにすれば、今後の振興計画の中にも活かせるんじゃないかと思えます。衰退しているものもあれば、ちょっと上がっているものもあるんじゃないかと思えますので、そういったこともどこかに謳っていただいて、雇用だと

布施委員長
笹田委員

か、若者確保が重要だと仰っていましたので、若者流出という意味でも浜田市の仕事はこうなんだよ、そこから今度はこうしたい、という形で見せてあげれば我々も見やすいですし、若い人らの教科書にもなると思いますので、その辺をお願いしたいと思います。

西田委員

資料1の人口減少対策プロジェクトで重点項目と基本目標と施策とありますが、この中で具体的な施策の中で私が思うのは、人口減少対策の中の特に少子化対策。移住ということもありますが一番重要なのは日本全国どこに行っても少子化対策が最も重要ではないかと思っています。出生数を増やすということは出産可能な年齢の方々にたくさん居て貰わないと出来ないし結婚もして貰わないとなかなか子どもは生まれにくいということで、そういう対策としてどうしても子育て世代の方々のIターンなり、若い方々の定住ということで。一つ思うのは今注目されている海士町とか邑南町とか、注目されていますがそういった地域は思い起こせば今から15年20年前から人口減少対策の危機感が一杯の地域で、その中で行政も本気になって少子化対策を真剣に考えた中で生まれたものが、どうやって若者を増やすか、あるいは連れてくるか。海士町の場合は東京都市部の優秀な学生さんたちをどんどん引っ張ってくれば良いという所に焦点を当てられたと思います。若い学生さんたちに対して手厚い市の施策で、学生さん達が思うことはどんどんさせてあげる、学生が学生を呼んで若い学生たちのコミュニティが出来た。若い方が中心に増えて来た。

邑南町の場合は子育て日本一で、子育て世代に対する厚いケア、施策をどんどんやってきた。

根本にはものすごい危機感があって、今総合戦略で人口減少対策を国はやっていますが、それを10年20年前から真剣に取り組んだのが、危機感のあった海士町や邑南町。現在その取組みの実績が出てきて注目されている。何が言いたいかというと、海士町や邑南町の危機感の考え方をしっかり掴んだ上で、浜田市の施策の中に活かして欲しいと思います。

布施委員長

その他委員からありますか。私から良いですか。

6ページ、浜田港エリアの活性化に入るのか、浜田港の方に入るのか分かりませんが、7月25日の海の記念日に市長も参加していただいて水上空港ネットワークの可能性についてパネルディスカッションに参加していただいた割には、誘客船というのがありますがあれば10年先も考えながら、万が一があった時には水上飛行を利用しようという提案があって、それは考えないといけないと言われましたが、この中には水上空港のネットワーク作りの文言がないので、是非とも入れていただきたいと申しておきます。

もう一つは、自治区別になるかもしれませんが、浜田という地形をもっと地域的・季節的に……浜田は海があり山がありスキーがあり温泉があり、食べ物が美味しい。この5つの魅力を部門別に分けている状態が結構あるので、これを一つの魅力として情報発信するような文言を入れていただきたい。と言うのが、外国人の誘客が一番低いのが島根県で、浜田でもアクアス以外にはなかなか人がお見えにならない状況です。しかし外国の方は爆買いということで広島方面にも結構来ておられます。その次に何が魅力かということ、中国や韓国にない自然環境が非常に求め

られている。一例を挙げるとスキー場。日本の雪はパウダースノーで中国人にとってすごく魅力だと。ましてや温泉に入れるということで、これは旭自治区としての魅力だけでなく浜田市全体の魅力として出していきたい。それが必要だと思っています。

もう一つは食についてですが、これは関係するかどうか分かりませんが、ツープライスや五地想ものがたりで食に対して提言されています。今の商工会議所にて担当議員もおられますが、ワンコインの浜田バルという、食を通じた市内交流が出来るような飲食業の動きが根付いています。これらをヒントしながら、浜田市としてのやり方を考えていただきたい。市だけでなく民間の良い所も取り入れて活かしていただきたいということをお願いいたします。

牛尾昭副委員長
漁港活性化室長

執行部何かございますか。聞き置くだけですか、別に構いませんが。

ご指摘いただいた件ですが、私どもはこの総合戦略・総合振興計画に向けて各部の意向を纏めていく作業をしていますが、それぞれの所管においてしっかり議論して、反映させるべき所はきちんと反映させる手はずで、これからもう少し練り込んでいきたいと思っています。

布施委員長
牛尾昭副委員長

他の委員からありますか。

漏れがありましたので。委員長の発言を聞いていまして、先ほど友好都市を起点とした国際観光と言いましたが、今浜田商工会議所は広島に見えるお客さんを1泊浜田に迎えようという仕掛けをしています。そういう意味で言えばインバウンドとして友好都市を利用した国際観光と、広島を起点として1泊浜田へ来てもらう。1日観光ルート、国際観光ルートですが、そういったものを是非入れていただいて。2泊は厳しいと思います。まず広島に見えるお客さんを1泊浜田へ迎える戦略が、浜田に似あった戦略かと思しますので、是非とも国際観光という文言を入れていただくことがあれば、その中で友好都市のことと今言ったような近隣都市を結んで浜田に来てもらう文言を是非入れ込んでいただけたらと思います。

布施委員長

その他委員からありますか。

(「なし」という声あり)

今委員から出された提言や意見は、また後日執行部から、政策審議会もあるでしょうし、色んなものに対して採用や検討もあると思うので、そのことについては回答していただくようよろしくお願いいたします。地域政策部長。

地域政策部長

いま委員長からあったように、本日いただいたご意見、一昨日は総務文教、昨日は福祉環境、各委員会からもいただいていますので併せて、全体的なことは私ども事務局の政策企画課、個別案件については各所管課に照会をかけて、文書で議会最終日の全協等で回答させていただきたいと思っています。それを受けてのご意見も改めていただきながら、パブリックコメントもやりますので皆様のご意見を反映しながら、最終案を作っていきたいと思っています。

(6) その他

布施委員長
産業経済部長

所管事務調査でその他何かありますか。産業経済部長。

先ほどのイベントの関係で西田委員からご質問がありました、お店の

状況が把握できましたので。とりあえず浜っ子まつりの状況と弥栄のふるさと祭りの状況、担当からご説明します。

観光交流課長

浜っ子夏祭りは市民のお店一区画が3万円です。それから露天商組合は全体の協賛金として50万円いただいています。これについてはごみ処理費用としていただいています。

弥栄産業建設課長

弥栄では出店者から使用料はいただいています。寄附という形でいただいています。

布施委員長
産業政策課長

その他ありませんか。産業政策課長。

私から島根県の立地計画認定書交付及び覚書調印式についてと、地域おこし協力隊についての2点、報告させていただきます。

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長
産業経済部長
布施委員長

その他ありますか。産業経済部長。

(以下、資料をもとに説明)

報告を受けましたが、この件については私から情報提供しようと思っていました。部長から言っていたので良いんですが。この件については産業建設の中で本当に可能性のある養殖業ということで、浜田市にとって利活用が大変期待出来るものです。相手のあることですが、関係業者や委員よりは色んな方に折角ですから聞いて欲しい。一般質問でも同僚議員が言っておられます。そのことを選ぶんじゃないで広い意味合いで情報発信していただいて、可能性のある農漁業を目指していただきたいということで、委員会として全員の意思で市長に申し入れしておりますので、枠を占めるのではなく可能性のある所については声かけをしてもらいたい。ましてや平日ですし当日は議会報告会の第2回目の委員が地域に出向いていく座談会の日でもありますので、大変な時ではありますが、参加できる方とできない方がおられるかもしれませんが、是非とも周知をお願いします。このことについて他の委員からありますか。

牛尾昭副委員長

特に休耕田を使ったブラックタイガーの養殖等々で中山間地で養殖をやる。ホンモロコという先駆的事例もありますが、是非ブラックタイガー、単価的に高いということで特に農業関係の方、休耕田をお持ちの方に参加していただきたい。それからこの際なので申し上げておきますが、旭温泉が30度の温泉水を流していると。山本准教授に言わせると養殖するのに30度の温度が一番適温なんだと。普通は水槽の温度設定をするのにコストがかかるが、30度の温泉水ならそのコストがかかりません。旭温泉の成分は別にしても理想的だという話も承っています。事前に成分を送ってくれば、その温泉水で環境水のパウダーを入れて、その湯でできるかどうかを是非検討したいということですので、事前にデータを送る準備を支所長をお願いします。

それから、どちらの自治区にも関係のあることなので、一人でも多くの方に是非ご参加いただいて。漁業は海だけでやるものじゃないということをお互いに共通認識として持ちたいと思いますので、よろしく願います。

布施委員長
都市建設部長

委員から何かありますか。都市建設部長。

先ほど執行部報告事項の所で災害復興室長から、災害復旧の現状説明がありました。ほぼ100パーセントに近づきつつあり大詰めを迎えています。従って、現在災害復興室は金城支所にあります。10月からは本

庁に戻して一緒にやっていく体制にする予定にしていることを報告します。

布施委員長

災害復興室長、大変ご苦労さまでした。またあつてはいけませんが、よろしく願います。その他委員からないですか。なければ以上で所管事務調査を終了します。執行部の皆さんは退席されて結構です。

《 執行部、退席 》

9 請願について

請願第7号 TPP交渉に関する請願について

布施委員長

継続審査となっているTPP交渉に関する請願についてですが、私からこれまでの経過を申し上げます。請願については産業建設委員会で6月時点で大筋合意を目指すための国の審議中であり、動向も不確定なため国の動向を注視する必要があると判断して継続審査としました。その後妥結に向けて担当閣僚会議を開き、合意を目指すはずでしたが交渉3カ国、12カ国による大筋合意には至っていません。その後閣僚会合も開かれておらずTPP交渉は先送りにされた状態になっています。

当委員会の委員任期は11月の臨時議会で改選を迎えますが、請願は6月定例会で出されて継続審査となっている以上、この委員会で9月定例会中に、可否を含めた態度を示す必要があると思っています。

これから委員皆さんのご意見を求めます。ご意見のある委員は挙手の上発言をお願いします。

牛尾博美委員

これを継続してやっていますが委員長が言われたように、結論を出すべきだと私も思います。現在継続中ですが、TPP交渉を左右すると言われているアメリカのTPAの法案等が成立して、そういった動向を注意深く見守らねばならない状況だと思っています。ただ、請願の趣旨にあるように、国会決議の違反が現段階では明言出来ないと思ひ、交渉から撤退するのが国益に繋がるかは慎重になるべきじゃないかと思ひます。よって意見書提出をお願いしますとありますが、意見書の提出は不要じゃないかと思ひます。

牛尾昭副委員長

予期しない国が反対に動いていたりして、TPP交渉そのものが流動的である中でTPP交渉が妥結しない場合でも日米協定という流れがあるように聞いています。従ってこの請願を出された状況と今とでは国際間の動きが大きく違っているので、これをこのまま採択するような社会情勢ではないという気がします。従って現時点ではその意に沿えないのが現実ではないかと思ひます。

布施委員長

副委員長の発言は、可否を決めるべきだということですか。

牛尾昭副委員長

従って、任期は4年あるわけですが常任委員会の改選もあるのですから、ここまでこのメンバーで審議してきましたので、常任委員会改選後の皆さんにまた最初からこの案件について議論させるのはちょっと気の毒だと思いますので、いずれにしてもこの議会で結論を下すべきだと思います。

笹田委員

私は前回この請願に賛成しています。決議から遵守出来ない場合は交渉から撤退するべきだと思っていますので、私はこの請願に対して賛成します。

串崎委員

私はもとより反対しています。理由は皆さんご存知のとおりで、農家は依然米余りで米価下落になりました。もちろん国策として飼料米に回すよう助成金も出ています。TPP自体が農家にとってマイナスの形に必ずなるのであり、即撤退するべきだと思って反対します。

布施委員長

ということは、この請願に対しての賛成ですか。ちょっと整理させてください。いまの串崎委員の内容を聞くと、この請願については可とするわけですから、今の理由だと賛成の立場の意見に聞こえますが。意見なので、また後で整理していただきたいと思います。もうないですか。

(「なし」という声あり)

今の時点では皆さんのご意見を聞いて、これから休憩をして市長提議案の採決と、そして請願についての採決をいたしますので。やはり皆さんの意見を聞いておかないと、なかなか難しい所がありますので。暫時休憩を挟みますので、可否や色んなことについては、是非とも間違いないように意思表示していただきたいと思います。では暫時休憩します。10分間します。

[15 時 25 分 休憩]

[15 時 35 分 再開]

布施委員長

休憩前に引き続いて再開します。千畳苑改修計画について先ほど観光交流課から報告がありましたが、訂正があるそうなので許可します。観光交流課長。

観光交流課長

千畳苑改修計画案の8ページをお開きください。(3)に一般会計移行のメリットの次に、「改修事業に起債の充当が可能」とありますが、この「起債」を「優良債」に訂正変更をお願いします。大変申し訳ありません。

布施委員長

委員の方よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは、これより、市長提出の付託議案について、順次、採決を行います。

委員から採決前に何か意見がありますか。

(「なし」という声あり)

議案第73号 浜田市木田暮らしの学校条例の制定について

お諮りいたします。

議案第73号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第74号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について

お諮りいたします。

議案第74号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、

ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第75号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について

お諮りいたします。

議案第75号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第79号 工事請負契約の締結について(浜田市立弥栄小学校屋内運動場改築に伴う建築主体工事)

お諮りいたします。

議案第79号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第80号 市道路線の廃止について(下来原59号線外)

議案第80号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第81号 市道路線の認定について(下来原59号線外)

お諮りいたします。

議案第81号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、産業建設委員会に付託を受けた議案の審査は全て終了いたしました。

続きまして、請願の審査に入ります。

請願第7号 TPP交渉に関する請願について

前回から継続審査になっているこの請願について、審査に関する意見等がありますか。

(「なし」という声あり)

ではこれより採択を行います。本請願について採択すべきものとする
ことに賛成の方の挙手を求めます。

《 挙手、少数 》

挙手少数により、本請願は不採択とすべきものと決しました。

10 その他

布施委員長

議題10その他に入ります。委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

事務局から何かありますか。

布施委員長

それでは、以上で産業建設委員会を終了します。委員長報告については9月30日の表決までに、正副委員長で作成して皆さんに目を通していただきますのでよろしくお願いいたします。了解が得られれば議場に配布したいと思いますので、それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい。以上、大変お疲れ様でした。

[15 時 52 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに産業建設委員会記録を作成する。

産業建設委員長 布施賢司